

庄川中学校 令和4年度 第2学期始業式 式辞

夏休みが終わり、いよいよ、2学期のスターとなりました。今日、体育館で皆さんと顔を合わせることができ、大変うれしく思います。

さて、夏休み中に、3年生の学年行事として、「先輩と語る会」が開催されました。

ここ数年、感染症の状況を踏まえ、外部の方を招くことは、なかなかできませんでしたが、庄川中を卒業した先輩に、進路について、進学について、中学校生活の過ごし方について直接聞くことができ、人と会うことのありがたさを実感しました。また、3年生の真剣さが伝わったこともあり、卒業生もそれに答えられるよう、準備をして当日を迎えたそうです。終わった後、校長室でも話が弾みました。私は一つだけ、どうしても聞きたいことがありました。

「庄川町は、いいところですか？」

すると、全員が大きくなすきました。

みなさんも、進学するときには、庄川町から離れて学校生活を送ることになると思います。先輩たちも、その時に、改めて、庄川のよさを実感したと答えてくれました。人、自然……。 「よさ」と感じるころは人によって違いますが、中学生の皆さんが今感じているものとはまた少し違う「よさ」を、数年後に感じるのだろうと思いました。そして、それも成長のひとつなのだろうと思いました。

私もこの夏休みに、庄川のよさに触れる経験をしました。あたたかい思いを形にさせていただいた経験です。親子ふれあい清掃は、感染症の状況により中止となりましたが、PTAの役員の方々と先生たちで、グラウンドの整備を行いました。草刈り機を

持ってきてグラウンドの除草をしてくださった方、コース上やフィールド内にある石拾い、草むしりをしてくださった方、その後のできる穴に土を入れ、平らにならしてくださった方。1時間黙々と作業をされました。きっと、その1時間は、「安全に気持ちよく走ることが出来ますように」とか、「体育大会が成功しますように」とか、あたたかい思いがグラウンドいっぱい広がっていたように思います。

目の前にある大きな行事の一つである体育大会。1、2、3年生が力を合わせて、活動するだけではなく、保護者、地域の皆さんも一緒に、体育大会を作り上げようとしてくださっています。

さあ、そんなあたたかい思いを、私たちはどのようにお返しすればよいでしょう

体育大会の最後の種目である応援合戦。みんなで大きな声を出すことは、今年もかないませんでした。しかし、今年の応援合戦は、自分の団を応援するだけではなく、庄川中学校を、庄川町を、私たちと一緒にこの体育大会を作ってくださいる方々を、そして、庄川中学校を応援してくださるすべての方を応援する、そんな時間になればよいと思います。

応援してくれる人を応援する、きっと、それは、あたたかい思いを形にしてくださいる方々の心に響くと信じています。

1学期の自分に改善を加え、「なりたい自分」に向かって進むことを願い、2学期始業式の式辞といたします。